

日本緩和医療学会 第8回北海道支部学術大会 2026年8月29日（土）プログラム

会場名	第1会場		第2会場	第3会場	ポスター・展示
場所	札幌医科大学 D101(240名)		札幌医科大学D102(140名)	札幌医科大学D301(140名)	札幌医科大学 C301-302
9:30～	受付開始				9:30-11:00 ポスター貼付
9:50～	開会式				
10:00	10:00 - 11:30 シンポジウム1 「どさんこの底力～どさんこロジーのひろがり～」 座長: 小田 浩之(北見赤十字病院) 座長: 原田 紘子(市立札幌病院) ・どさんこロジーとキャリアパス支援 大場 洋子(KKR札幌医療センター) ・地域緩和ケアの実践 山本 亮(佐久総合病院佐久医療センター) ・どさんこロジーのこれまでとこれから 木澤 義之(筑波大学) ・どさんこロジーと在宅医療 泉 京子(勤医協平和通りクリニック)		第1会場のサテライト会場 (第1会場の講演を配信します)	第1会場のサテライト会場 (第1会場の講演を配信します)	ポスター展示・企業展示
11:00					
	11:40 - 12:10 優秀演題発表 3演題 10分×3(30分)	11:40 - 12:10 友情講演 「遺族ケアについて」 演者: 大西 秀樹(埼玉医科大学国際医療センター) 座長: 稲川 信(かんわ心療クリニック)			
12:00					
	12:20 - 13:20 ランチョンセミナー1 第一三共株式会社 「オレキシン神経系の日内変動と睡眠医療・緩和医療への応用」 演者: 神林 崇(筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構) 座長: 佐々木 史(市立函館病院)	12:20 - 13:20 ランチョンセミナー2 エーザイ株式会社 「睡眠障害の診療アップデート ～地域・在宅、多職種で考えるこれからの睡眠ケア～」 演者: 後平 泰信 先生(徳洲会もいわ病院 院長) 座長: 磯部 宏 先生(KKR札幌医療センター 院長)	12:20 - 13:20 ランチョンセミナー3 塩野義製薬株式会社 「オピオイド治療における副作用対策の重要性 ～最適な鎮痛薬選択のために」 演者: 敦賀 健吉(北海道大学病院) 座長: 岩崎 創史(札幌医科大学)		
13:00	是非ポスターセッション・ディスカッションにご参加ください				13:20 - 14:20 ポスターセッション・ディスカッション 演者在席
	13:40 - 14:20 特別講演 「農都共生ライフ」 演者: 林 美香子 (キャスター・慶應義塾大学大学院SDM研究所顧問) 座長: 上村 恵一(斗南病院 精神科／緩和ケア内科)	第1会場のサテライト会場 (第1会場の講演を配信します)		第1会場のサテライト会場 (第1会場の講演を配信します)	
14:00					ポスター展示・企業展示
	14:30 - 15:30 教育講演1 「透析医が緩和ケア医に期待すること」 座長: 敦賀 健吉(北海道大学病院) 演者: 前野 七門(仁権会札幌病院)	14:30 - 15:30 教育講演2 「がん患者の心理的支援について」 座長: 近藤 千尋(KKR札幌医療センター) 演者: 石田 真弓(埼玉医科大学国際医療センター)	14:30 - 15:30 教育講演3 「せん妄の早期発見と予防への挑戦 ～ヒトとネズミと～」 座長: 菊地 未紗子(済生会小樽病院) 演者: 山梨 豪彦(鳥取大学医学部)		
15:00					16:00-16:50 ポスター撤去
	15:40 - 17:10 シンポジウム 2 (PAL) 「道内サイコオンコロジーの底力アップを目指して」 座長: 松山 哲晃(北海道がんセンター) 座長: 小野寺 美子(旭川医科大学病院) 道東における心理支援の実情 藤原 葉子(ホームケアクリニック札幌) 道南におけるボトムアップ実践 佐々木 史(市立函館病院) 道北における精神腫瘍の遠隔コンサルテーションの実践 今野 なぎさ(リバータウンクリニック) 精神科リエゾンのアウトリーチ 井上 真一郎(新見公立大学) ※PAL参加可	第1会場のサテライト会場 (第1会場の講演を配信します)		第1会場のサテライト会場 (第1会場の講演を配信します)	
16:00					
17:00	17:10 - 17:20 表彰式・閉会式				